

校訓	真善美	令和6年度 学校だより	発行日	令和6年8月28日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心を育てる	「荒中だより」 葉月 August 第17号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【2 学期始業式 校長講話】

今年の夏は、例年になく酷暑、猛暑でしたが、元気に過ごすことができましたか？
39日間という長い夏休みにしかできないことにたくさん挑戦し、“**自分磨き**”ができたでしょうか？ 夏休みという自分自身に任された時間を有意義に過ごせた人は、**やり遂げた自信や満足感を得て、ひとまわり成長できた**のではないのでしょうか？



今年は、4年に一度のスポーツの祭典オリンピックがありました。フランスパリでの日本勢の活躍は目を見張るものがあり、夢と希望、元気をたくさんもらいました。特に、高飛び込み競技では、日本代表選手として本校卒業生の荒井 祭里選手の活躍を応援することもできました。予選を突破し決勝の舞台に立った荒井選手は、「五輪の決勝でこの演技をできた自分をすごいと思う」という振り返りと、「今後の課題が見つかったことは収穫のある大会だった」とくくっておられました。今後、更なる活躍を応援するとともに、素敵な先輩がいることに誇りをもち、我々も自分事としてやるべき事に力を注げる人でありたいですね。



さて、2学期は、体育大会、学習発表会があります。3年生にとっては、体育大会などの行事は、全てが『中学校最後の』となり、12月には、志望校決定という人生初めての進路選択・決定を迎えます。どの学年も、各学年が目指す目標をもって、悔いの無いよう1日1日を大切に取り組んでください。2学期は、行事への取り組み等を通して、学級や学年の団結を高め、集団の中の自分をじっくりと見つめ、仲間と共に成長する機会にして欲しいと思います。目標は、『**文武両道**』です。学問にも、スポーツにも、芸術にも、一生懸命取り組み、やりきる姿勢を大切にしてください。だれでも苦手なことはあります。だから一生懸命やってみるのです。得意なことや好きなことを発揮できるチャンスがたくさんあるのが

2学期です。その得意な事をどんどん伸ばしていくために、困っている人や苦手な人に声をかけたり、手伝ってあげたり、教えてあげたりと、自分の力を” **人のため**”に発揮してください。そうすることで、自分も成長するし、仲間もうれしくなるし、前向きになれる。中学生の可能性は無限大です。仲間と共に取り組むことで、新しい考え方に気づいたり、今まで気づかなかった自分に出会えたりするのです。4ヶ月間の2学期を通して、仲間とともに自分自身を大きく成長させてほしいと思います。学校という場所でしかできないことの価値を見つける2学期にもしてください。



早速、今週金曜日には1,2年生は課題テスト、9月10日には、3年生は実力テストがあります。勉強やテストが好きな人はほとんどいないと思いますが、自分の未来、将来の生き方を考えたとき、『知力』は自分の人生の選択肢を広げます。自分の手で自分の幸せを創造するための力となります。全教科バランス良くできることは理想ですが、得意な教科を全力で、徹底的に頑張ることから自信をつけていきましょう。特に、3年生は志望校受験に合格するための実力をつけていかなければいけません。受験は、団体戦といえます。1,2年生の学習の基礎がとても重要ですから、1,2年生も自分事として、今取り組まなければならない学びにしっかり取り組んでいきましょう。そのために、家庭学習の時間の確保を意識してください。誰に言われるでもなく、自分で帰宅してからの時間を調整して、平日は学年時間（1年生は1時間。2年生は2時間。3年生は、3時間。）、休日は、プラス1時間です。宿題や週末課題だけでなく、マイ学以外にも自主的に取り組んでください。国語、英語は、習っているところの音読。数学は、計算ドリル。理科や社会は、習ったところの復習、予習で教科書を読む。など、毎日継続することで必ず力がついてきます。どんな勉強をすれば、学力が定着するのか、向上するのか、先生にどんどん質問してみましょう。きっと自分に合った学習方法が見つかります。まずは、自ら考えて、行動することです。待っていても何も変わりません。自分から求めて行動する姿勢を大切にしてください。